

## イスラムにおける教（上）：バグダドの物

:

明: 争や占 をもってしても、バグダドの物の を消し去ることはできませんでした。

目:[事イスラムの 概要](#)

より: ア イシャ ステイシ

ED2 Mar 2015

集日 20 Nov 2017



暴力によって支配され けてきたバグダドは、 度にも渡り苦 の をり越えてきました。いまやバグダドは「混乱」「死」「破」を 想させる都市です。バグダドの 状は、苦痛に叫びながら、 幕の内 で死にゆく 程にある都市です。テレビ画面に映し出される 状からは、 去にはそこに世界中の知が集 した都市だったことを想像するのは困 かも知れません。「バグダド」と「物」は、数百年に渡り同 でした。家庭には本棚が び、バグダドの市街には 店が んでいました。 在もバグダドの瓦 と混乱の中で、住民たちは 物を い求めます。「これはイラクの病 なのです。人々は食物ではなく、 物にお金を やすのですから。」NBCニユ スのイラク人通 者は冗 を交えてそう言います。

ヨロッパが暗 代と呼ばれた 期にあったさなか、バグダ ドは 物に 狂していました。ヨ ロッパ中の教会では、そこにわずか数 の本が置いてあれば幸 であると なされていた 代、バグダ ドには100店もの 店が ぶ通りがあり、それぞれが 物か文房具、あるいは双方を し ていたのです。当 の西洋世界を 渡しても、み きのできる人々は裕福な家庭や宗教 威に 限定されていましたが、バグダ ド市内には30もの があったのです。

言者ムハンマドの死から200年もしない内に、小さなイスラ ム国家は西はアラビア半 か ら北アフリカ 国、そして はペルシャからウズベキスタンを超え、インドよりも先の地 域にまで 大していました。チグリス川の川岸に 展した都市であるバグダ ドは、西 およ そ750年にイスラ ム帝国の首都として制定されました。その地理的な位置は、周 国はも ちろん、果ては中国までの交流を可能とし、バグダ ドは政治上 行政上だけでなく、文 化と学びの中心地となりました。

帝国の 地域の男女はバグダ ドへ押し寄せ、そこへ当 の既知世界からの 々な知 をもたら しました。

ムスリム、ユダヤ教徒、キリスト教徒、ヒンズ 教徒、ゾロアスタ 教徒、さらに素性不 明な 宗教の人々もバグダ ドに居住していました。 々な 物がバグダ ドの生活を描写する ようになりました。街路には作家、翻 家、写本家、 蒙家、司 、 本家、 集家、 者などで 溢れていました。しかし、それら多 なる出自の人々はつながりを共有する必要性を持っ ていました。こうしてアラビア が学 の言 として し、つながりが 立されたのです。

プラトン、アリストテレス、プトレマイオス、プルタルコス作品はアラビア に翻 さ れました。ユダヤ人哲学者たちは、ギリシャ哲学 のアラビア を通して 文などを著しま した。ヨロッパが暗 代から 蒙 代に突入した には、帝国の基 を取り すためにアラビア の 物に ったのです。

バグダ ドで翻 された原本の多くは、それらが著された本国では既に消失していた 合が 多々あり、アラビア の 本だけが残されていました。バグダ ドの学者たちはギリシャ、 ロマ、エジプト、さらにはペルシャ、インド、中国などの古典を保持する 任を ってい

ました。それらの著作はアラビア からトルコ 、ペルシャ 、ヘブライ やラテン などの元の言 へ再び翻 し直されたのです。カトリック教会のトマス アクィナスは、バグダ ドの学者たちによって されたアリストテレスの哲学 を み、かの有名な「理性と信仰の 和」について著しています。

バグダ ドの学者たちは、名高い作品群を 集 纂しただけでなく、それらを知 体系に み みしました。彼らは天文力学といったような新たな学 の分野を 拓していき、世界に代数学 や 何学をもたらしたのです。バグダ ドの学者たちは、医学 としては世界初とみられる解剖 を含む眼科学の教本を制作しました。それは洋の 西を わず、 定的な功 となり、8世以上に渡り使用され けました。

バグダ ドが学 の中心地となると、 のカリフだったハ ル ン アッ=ラシ ドとその息子のアル=マアム ンは、 史上最も著名なシンクタンクであるバイトル=ヒクマ（英知の ）を 建 しました。英知の に集った学者たちは、近代のそれとは なり「 分野」を持ちませんでした。アッ=ラ ズィ は哲学者であり数学者であり内科医でもありましたし、アル=キンディ は 理、哲学、 何学、算定、算 、音 、天文学について著しています。その著作の中には「一部地域に降雨が少ない理由（The Reason Why Rain Rarely Falls in Certain Places）」、「目眩の原因（The Cause of Vertigo）」、「ハトの 交配（Crossbreeding the Dove）」などがあります。

史家アル=マクリズィ は、西 1004年の英知の の について次のように叙述しています。「学生たちはそこに住み み、他の（多くの） から本が持ち られました。そしてそこは一般市民にも解放されていました。そこでは であれ、いかなる本でも みたければ む ことができ、 写したければそうすることができました。学者たちはクルア ン、天文学、文法、辞 学、医学などを学びました。建物はカ ペットで装 され、すべてのドアや廊下にはカ テンが けられており、管理者、使用人、清 やその他の が一体となり施 全体を持っていました。」

本は常にバグダ ドの生活に わってきました。西 11世 のバグダ ドでは、一 の写本は「近代の本と同等の大きさで、良 の の 表に文字が かれており、革装丁されていました。」

一般的な店には、クラン、クランの注、言学、カリグラフィ、キリスト教およびユダヤ教の典、史、政府の、裁判の、イスラム以前以降の、々な宗派の思想、学、ギリシャ医学、イスラム医学、文学、フィクション小説、旅行ガイド（インド、中国、インドシナ半）など、数百もの本がんでいました。

在、周で爆がり返されるような危的状の中でも、バグダドの人々は文学的をててはいません。瓦の中でも店主は仕事に精を出しますし、バグダド市民はをするか、食事をするかで見ます。イスラムにはい文学のがあるため、それはくべきことではないのです。言者ムハンマドに下された最初の示は、「イクラ（め学べ理解せよ）」だったのです。

第2部ではクラン、そして言者ムハンマドにまつわる承から、教知の探求がどのように言及されているのかについてていきます。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2813>

著作 2006-2015 断を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断を禁じます。